

刑法ゼミナール

准教授 友田 博之

〈ゼミナールの目的・到達目標〉

当ゼミの目的は、刑法解釈学という難解な学問に果敢にチャレンジし、学生自らの「生きる糧」とすることにあります。2000年以上の歴史を持つ刑法解釈学から得られる叡智は、決して刑法という限定された枠にとらわれるものではありません。到達目標はずばり、「刑法を素材としてリーガルマインドという生涯の知的財産を身につけること」です。

〈ゼミの内容、進め方〉

事前にレポーター（報告者）を決めたうえで、その報告（30分程度）をもとに、全員で議論するという、ごくオーソドックスなゼミのスタイルです。

使用する教材決定から、報告の仕方（一人かグループ報告か）や司会進行の仕方等、基本的にはゼミ生の自主的な運営に任せ、教員はできる限り黒子に、つまりは議論が迷走したり袋小路に入ってしまった場合のサポート役（のつもり）です。

既成の枠にとらわれることなく、その学年ごとのスタイルと自主性を重んじつつ運営してゆく、「ゼミ生オリエンティッド」が当ゼミの基本理念です。

〈ゼミの年間スケジュール〉

【ゼミ選抜後、年内 or 年明け】新歓コンパ

【春休み】追いコン（2年生以上）、新歓合宿（1泊）

【1 期】ゼミ対抗球技大会、バーベキュー等の任意企画

【夏休み】夏合宿（2泊）

【2 期】ゼミ大会、ゼミ選抜（面接・選考委員）

*その他、刑務所参観や裁判傍聴など、ゼミ生の希望に応じて適宜実施します。

〈成績評価〉

出席は必要最小限の単位取得要件です。レポーターとしての報告や議論への積極的な参加はもちろん、各種イベントの企画立案なども加点事由とします。

〈求めるゼミ生像〉

まずは刑法に興味のある学生、次にゼミ活動を通じて大学における活動領域・知見を広めることを望む学生を求めます（たとえ内気でも、秘めた情熱がありさえすれば問題はありません）。学修だけでなく、球技大会にも毎年参加し、ゼミ生の独自企画（バーベキュー etc）も盛んなゼミですので、そのような各種イベントにも積極的に参加できる学生が理想です。

〈選抜方法〉

1. レポート

①あなたが受けてきた刑法（入門・総論）の講義で印象に残っているテーマ（論点）を挙げ、その理由を述べてください（400字程度）。

②当ゼミにあなたが期待する（求める）ものについて述べてください（字数は自由）。

*以上①②は必答。書式（ワープロ or 手書き、表紙の有無など）は自由です。

2. 面接

*ゼミ生数名と教員でおこないます。

**質問事項は、ゼミで必要なコミュニケーション能力があるかどうかについてのごく一般的な質問
(例：ゼミ内でトラブルが起きた時あなたならどうする？ etc) と、レポートの内容についてです。

〈募集人数〉

10名程度

〈教員からのお知らせ〉

当ゼミは、「ゼミはチーム」を標榜しています。ゼミ員それぞれに決して学問だけではないそれぞれの役割（ポジション）があり、それを自覚しつつ自主的に、そして極力全員が理解できることを目標とし、離脱者を出さないように注意しながらゼミ活動を行っています。

1年生のみなさんにとって、ゼミは、貴重な数年間（場合によっては卒業後も）活動を共にする仲間を選ぶ場です。当ゼミがみなさんにとって、新たな出会いのそして最良の活動の場とならんことを、教員として願っています。